

平成29年度 第2回 東松島市復興まちづくり計画市民委員会 【開催概要】

平成 29 年 8 月 21 日（月）19 時より、東松島市役所本庁舎 202 会議室において、市民委員 16 名およびアドバイザー企業 5 社が出席し、平成 29 年度第 2 回東松島市復興まちづくり計画市民委員会が開催されました。

【内容】

1. 意見交換
～平成 28 年度東松島市人口ビジョン・総合戦略実施事業について～
2. その他 今後の予定について



■意見交換 ～平成 28 年度東松島市人口ビジョン・総合戦略実施事業について～

第 1 回市民委員会に引き続き、平成 28 年度に実施した「東松島市人口ビジョン・総合戦略」に基づく事業について、市の担当職員を交え、委員がポスターセッション形式で意見交換を行いました。今回の委員会では、「『教育が充実しているまち』としてのブランド確立事業」、「食育啓発事業」、「地域おこし協力隊設置事業」の 3 事業について、これまでの実施状況や現状・課題、市で実施した内部評価について、市民からの目線で意見を出し合いました。

◇平成 28 年度東松島市人口ビジョン・総合戦略実施事業について（一部意見を要略）

- ・コミュニティスクールは、地域の力を活用して子供たちを育てる素晴らしい取組であるが、学校や地域の負担が過度にならないよう、十分に配慮しながら進める必要がある。
- ・現在、宮野森小学校で行われている「森の学校」の取組を、他校の子ども達も受けられるようになるとよいと思う。
- ・子どもの教育や子育て支援としての食育・レシピ開発等は大切であるが、今後は高齢化社会をにらみ、ひとり暮らし高齢者向けのメニュー開発や介護食といったライフステージに応じた大人向けの食育にも力を入れてほしい。
- ・地域おこし協力隊の存在が市民にあまり知られていない。活動状況をもっとアピールして。
- ・地域おこし協力隊となった方には任期終了後に本市に定住してもらえよう、起業・就業のサポートをしっかり行ってほしい。



※詳細は、別紙会議記録をご確認ください。

作成：東松島市復興まちづくり計画市民委員会事務局